

第 1 章 診断の目的と概要

1. 経営診断の目的

厳しさを増す地方財政状況の中で、地方公共団体が出資する公社、第三セクターなどの経営の見直し、改善、自立化が求められてきている。

2006 年に表面化した北海道夕張市の財政破綻には、第三セクター経営状況の悪化が大きく関係していたことが指摘されているなど、地方自治体が抱える第三セクター等には、膨大な債務を抱えて破綻する、あるいは破綻寸前のものも多数出てきている。

このような地方公共団体の財政再建を促し、破綻を防ぐ目的で、平成 19 年「財政健全化法」(地方公共団体の財政の健全化に関する法律)が成立、地方公共団体本体(一般会計)だけでなく、地方公営企業、地方公社、第三セクター等の将来の財政負担を含んだ連結ベースで財政状況を把握し、破綻の恐れがある場合は事前に計画的な財政再建を求める「イエローカード」を出して早期是正措置を促す仕組みが導入された。

財政状況の把握、判断には「実質赤字比率」「連結赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」の 4 つの指標が用いられ、それぞれの基準より悪化した場合には、財政再建団体として国の厳しい管理下におかれる場合もある。

本「南部町第三セクター等経営改善事業」(以下「本事業」と言う。)は、総務省指針に基づき、南部町(以下「町」と言う。)が出資する“財団法人南部町健康増進公社”(バーデパーク)及び町が直営施設として保有する“農林漁業体験実習館 チェリウス”について、その経営状況を客観的指標等により診断、分析することで、改善すべき経営上の問題点、あるいは将来的な課題などを把握するとともに、当該施設の更なる発展のための提言を行うことを目的とする。

2. 診断の概要

2.1 診断の対象

本事業における調査診断の対象（施設）は以下のとおりであり、それぞれ総合診断、個別診断を行なった。

（１）財団法人南部町健康増進公社（バーデパーク）

- ・ 温泉保養館「バーデハウスふくち」
- ・ 南部町総合交流ターミナル施設「アヴァンセふくち」
- ・ 屋内スケート場「ふくちアイスアリーナ」
- ・ ふくち屋外プール

（２）農林漁業体験実習館 チェリウス

（施設としては単体であるため、以下は提供しているサービス種別で分類している）

- ・ 宿泊
- ・ 研修室
- ・ 実習
- ・ コミュニケーション室
- ・ 小和室
- ・ 体験
- ・ レストラン
- ・ 休憩
- ・ 入浴

2.2 診断の方法と経過

調査・診断及び改善提言にあたっては、副町長を委員長とし、議会、関係団体代表者、有識者などからなる「南部町第三セクター等経営改善委員会」（以下「委員会」と言う。）を設置、この中での協議を中心に、

- ・ 関係者ヒアリング調査
- ・ 利用者アンケート調査
- ・ 職員からの新事業展開アイディア提言（アンケート）調査
- ・ 財務諸表診断（資料分析）
- ・ 委員会における協議、検討

を行うことで、現況の把握、将来へのシミュレーション（経営のシナリオ）経

営改善のための提言などを行っている。

また、調査・診断の経緯は図表 1.1 のとおりである。

図表 1.1 調査・診断の経過

実施日	実施項目	実施内容（目的）
平成 21 年 9 月	事務局調整	・ 調査・診断方向の確認 ・ 財務データの収集、分析
	関係者（施設管理者等） ヒアリング	・ 経営概況の把握 ・ 施設経営の問題点、課題の把握
平成 21 年 10 月 13 日	バーデパーク職員ヒアリング	・ 施設運営の問題点、課題 ・ 職員意識の把握
	第 1 回 委員会	・ 委員委嘱 ・ 趣旨説明 ・ 講演会：第三セクターの現状と課題 ・ バーデパーク施設見学
平成 21 年 9 月～10 月	職員アイデア募集（アンケート調査）	・ 経営改善、サービス向上のための意見、アイデアの聴取 ・ その他意見調査
	利用者アンケート調査（バーデパーク）	・ 利用者の属性、利用状況の把握 ・ 施設の評価 ・ その他意見聴取
平成 21 年 11 月 24 日	チェリウス職員ヒアリング	・ 施設運営の問題点、課題 ・ 職員意識の把握
	第 2 回 委員会	・ 診断の中間報告 ・ 指定管理者（南部町健康増進公社）による事業展開プレゼンテーション ・ チェリウス施設見学
平成 22 年 2 月 1 日	事務局調整	・ 診断結果及び提言内容の検討 ・ 報告書素案の作成
平成 22 年 2 月 12 日	第 3 回 委員会	・ 診断結果及び提言内容の報告（外部有識者による講演会開催）
平成 22 年 3 月	事務局及び関係者打合せ	・ 事務局、関係者への最終報告書内容の説明、確認 ・ 最終報告書（成果品）の提出